



《 国産大豆 》

落札率54%、スズマル、納豆小粒は高騰

4月に2回実施された19年産国産大豆の入札取引結果は、日本特産農産物協会の発表によりますと、上場数は14,676トンで、落札が7,986トン、落札率が54.4%、平均落札価格は、前月比60kg/110円アップという結果となりました。18年産と比較すると落札率、平均落札価格とも引き続き高い値で推移している状況です。(前年4月の落札率は32.6%、前年4月の平均落札価格より60kg/917円高値)

普通大豆の落札率は、55.7%ですが、北海道の小粒スズマル、宮城の中粒ミヤギシロメ、中粒あやこがね、中粒タンレイ、岩手のナンブシロメ、茨城の納豆小粒などは、上場全量落札(落札率100%)となっております。また、北海道の小粒スズマルは、60kg/22,279円と更に高くなっており、茨城の納豆小粒も小粒19,709円、極小20,086円と高騰しております。

輸入大豆価格の高騰が、続いている状況なので、国産大豆価格へ影響を考慮するとお早めの手当てをおすすめ致します。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	575t	466t	81.0%
12月	4,730t	3,239t	68.5%
1月	12,031t	8,118t	67.5%
2月	13,844t	8,481t	61.3%
3月	14,802t	9,455t	63.9%
4月	14,676t	7,986t	54.4%
累計	60,658t	37,745t	62.2%



《 北米産大豆 》

大豆作付増、相場はやや下げ

アメリカ農務省は、3/31に‘08年のアメリカ産大豆の作付予想面積を発表し、前年比18%増加の7479万エーカーとしました。また、トウモロコシの作付予想面積は、逆に8.1%減少し、8601万エーカーとしました。この影響で、シカゴ相場は一時、12ドル半ばまで下落したものの、5/8現在、期近で、12ドル98セントと値を戻しております。相場自体は、一時期ほど高騰してないものの、‘08年産のNONGMO大豆を手配するには、高いプレミアムでの契約栽培を履行しなければならぬ状況で、今年以上にタイトな状況になるものと思われる。

アメリカ農務省の4/28の発表によると、大豆の作付率は、4/27現在、主要18州平均で2% (前年3% 平年5%) とやや遅れています。また、トウモロコシの作付率は、同じく18州平均で10% (前年20% 平年35%) と大幅に遅れている状況です。今後も、天候と進捗状況が注目される所です。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



LET IT BEANS / 食を創るパワフル・カンパニー



MI み TSU く RA



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>